

**官民共創のイノベーション
ー規制のサンドボックスの挑戦とその先ー
(中原、池田編)**

令和6年3月1日

中原 裕彦

**前経済産業省 大臣官房審議官
(経済社会政策担当)**

nakahara-hirohiko@meti.go.jp

本書の構成

- 規制のサンドボックス制度（期間や参加者を限定すること等により、既存の規制の適用を受けることなく、新しい技術等の実証を行うことができる環境を整えることで迅速な実証を可能としつつ、規制改革、円滑な事業化を推進するもの）の政策思想、制度概要、創設経緯、今後のルール形成に示唆するもの
- スタートアップの意義・役割と破壊的イノベーションのフェーズに応じた政策形成のフロンティア
- 規制のサンドボックスに関する個別の案件組成に尽力した担当行政官の視点からのケース・スタディ
- 新技術等効果評価委員会の委員による座談会、新しいルールメイキングに取り組むスタートアップやイノベーションの導入に積極的な自治体へのインタビュー
- イノベーションの展開に鍵となる企業の法務機能の新たな展開の在り方

規制のサンドボックスの認定実績

Fintech

- ・犯罪収益移転防止法 × データ
- ・Insurtech (P2P保険)
- ・少額短期 (P2P保険)



モビリティ

- ・電動キックボードのシェアリング
- ・ハイブリッドバイク
- ・車内空間のシェアリング
- ・キャンピングカーの相乗り



ブロックチェーン

- ・暗号資産
- ・治験、臨床研究
- ・第三者対抗要件



ヘルスケア

- ・オンライン受診勧奨 × 診断キット
- ・救急医療 × 生体認証
- ・スポーツ × リアルタイム採血検査
- ・医薬品 × 販売機
- ・野菜POPの自主マニュアル
- ・薬局×災害対策医薬品供給車両



岐阜薬科大学附属薬局

AI・IoT・DX

- ・IoT × 家電 (PLC)
- ・DX × 不動産 (IT重説)
- ・DX × 債権譲渡通知
- ・DX × 障害者雇用
- ・DX × 定期建物賃貸借契約
- ・AI × 無人カフェ
- ・DX×ペイロール



環境・リサイクル

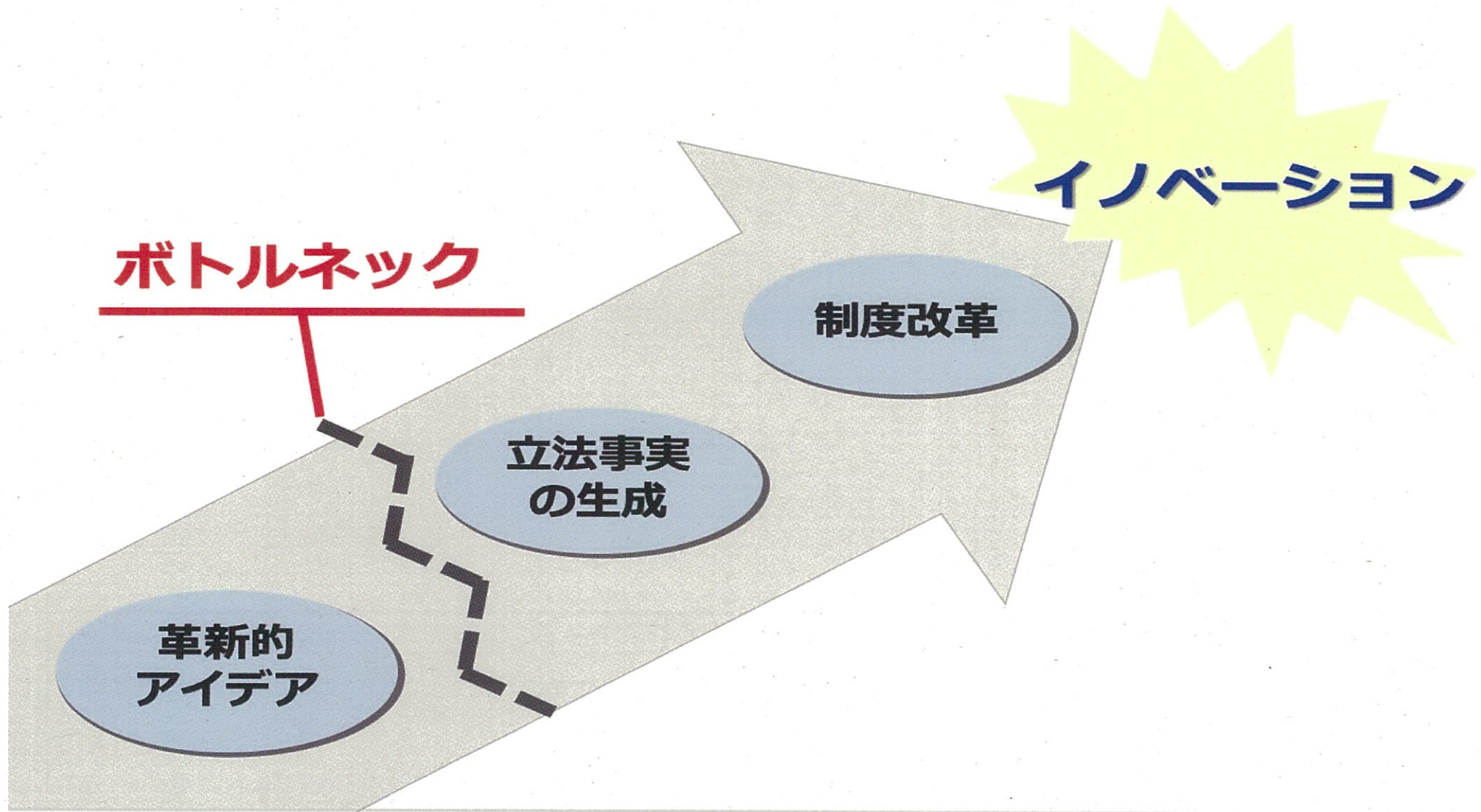
- ・IoT × リサイクル
- ・ラベルレス製品×自販機



イノベーションを論ずる際にかつて耳にしたいいくつかのこと

- スマートフォンがここまで普及したことは凄いけど、基本的なアイデアは我々が既に考えていたことなんだよね
- イノベーションを目指すのだから、もっと国民から大きく注目を浴びるような簡単で分かりやすく大きな法改正ダマは無いのかね
- ニーズを証明しろと言われても、現在行うことが許されないものをどうやって証明したら良いのですか
- 前例、前例と仰いますが、一番最初に創った人はどうやって創ったんですか
- このアイデアを経営企画に持ち込んで絶対にダメだと言われます。どうやったら我が社で取り上げられるようになるのでしょうか
- どのような課題が実は本当に社会にとって肝なのかも、実は我々は分かったようなつもりで分かっていない

容易ではないconnecting the dots



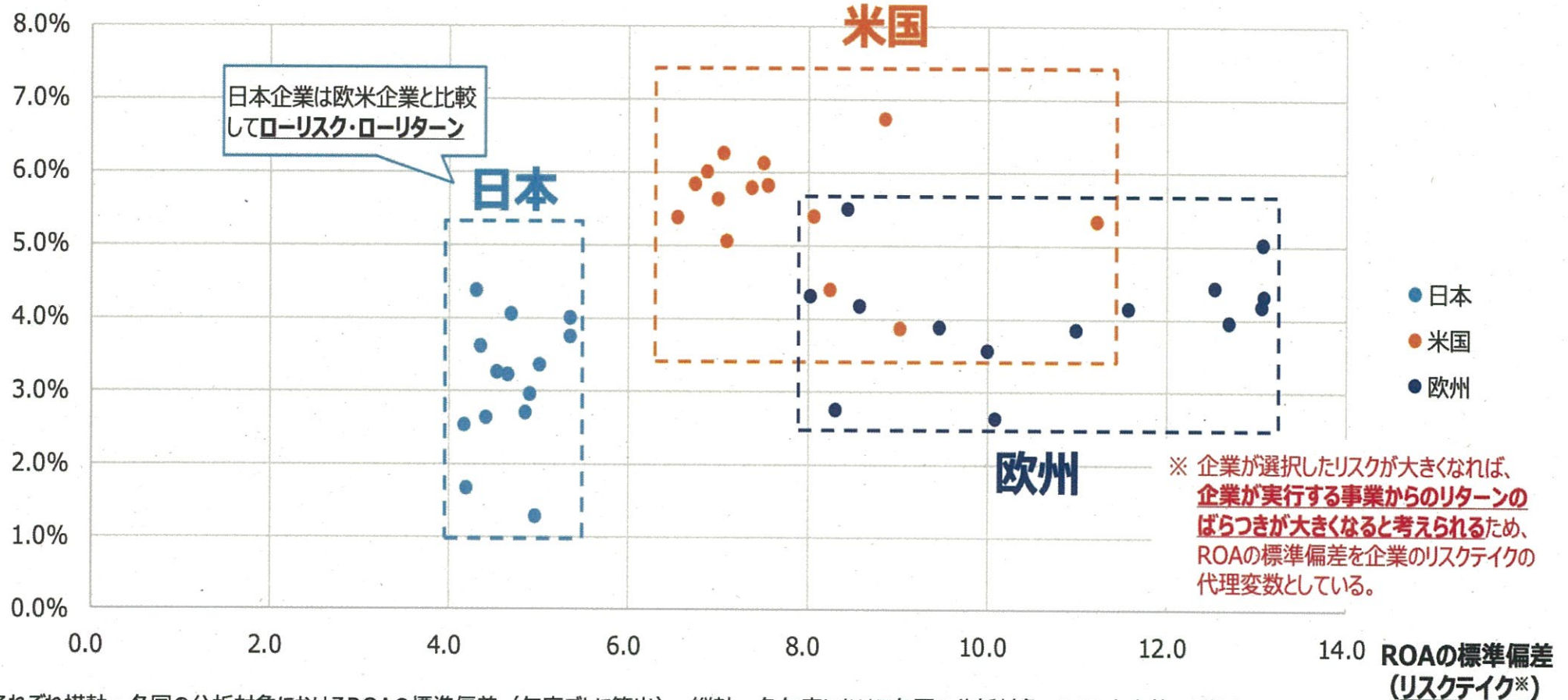
ルール形成におけるinertia

- ✓ 演繹的思考法、法的三段論法
- ✓ 既存の規制手法、思考方法の援用
- ✓ 説明のストーリーとしての分かりやすさ
- ✓ 判例・裁判例・前例への配慮
- ✓ 類似した事例との整合性
- ✓ 予測可能性と秩序維持の最大化

失敗無くして成功なし

ROAの水準
(リターン)

日米欧における各年度の標準偏差とROAの分布 (2007年度～2020年度)



(注) それぞれ横軸：各国の分析対象におけるROAの標準偏差（年度ごとに算出）、縦軸：各年度における各国の分析対象のROA中央値、を指す

- ①日本：TOPIX500（東証1部上場企業時価総額上位500社）
- ②米国：S&P500（米国上場企業の内、全主要業種を代表する500社）
- ③欧州：BE500（欧州企業時価総額上位500社）

(出所) Bloombergを元に経済産業省作成（データは2021年5月24日時点）

終わりに

- 政策形成におけるボトルネック課題を特定し確実に解決する。実現への裏打ちがあって初めてビジョンや構想は意味をなす。
- 打開策となるアイデアは、我々の組織（官庁、企業等）の内部の中に存在している。変革しているリアルに直面している現場の一人一人に解決の糸口が内在。
- 大切なことは、これらを拾い上げ、経済社会全体として使いこなせるシステムを構築できるか。システムを憎んで人を憎まず。
- ルール形成も組織運営も、明確性と柔軟性、深化と探索という一見相矛盾する要素をどう両立させていくか
- Policymaking by experiments
- 隠れた貢献に気づけるか。耳の痛い意見を聴けるか。嫉妬を克服できるか。